



2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月8日

上場会社名 小津産業株式会社
 コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今枝 英治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 稲葉 敏和
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3661-9400

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	30,855	1.0	506	28.1	562	25.0	348	32.5
2018年5月期第3四半期	30,547	1.3	705	21.1	750	20.4	515	17.9

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 516百万円 (%) 2018年5月期第3四半期 1,006百万円 (327.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	41.59	
2018年5月期第3四半期	61.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	23,181	14,406	62.1
2018年5月期	24,057	15,068	62.5

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 14,390百万円 2018年5月期 15,036百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改定(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年5月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		19.00	19.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	2.6	650	17.7	690	17.8	470	23.2	56.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	8,435,225 株	2018年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	64,365 株	2018年5月期	70,692 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	8,368,031 株	2018年5月期3Q	8,364,605 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご高覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年6月1日~2019年2月28日)の業績は、売上高308億55百万円(前年同期比1.0%増)、経常利益5億62百万円(前年同期比25.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億48百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。以下の前年同期比較については、変更後の算定方法に基づき算出した前年同期の数値を用いて比較しております。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野では、自動車関連用途の電子部品・デバイス産業向けの販売が堅調なため、前年同期に対して売上高、利益面共に微増となりました。

メディカル分野では、前年同期に対して売上高がほぼ横ばいとなりましたが、衛材メーカー向けや透析向けの販売が減少した影響により、利益面では下回りました。

コスメティック分野では、東アジア市場向けの販売が増加したことにより、前年同期に対して売上高、利益面共に微増となりました。

小津(上海)貿易有限公司では、前年同期に対して売上高が微減となりましたが、エレクトロニクス分野向けの販売が増加したことにより、利益面では上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、前年同期に対して売上高がほぼ横ばいとなりましたが、大手小売業向けの生産が減少した影響により、利益面では下回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、前年同期に対して売上高がほぼ横ばいとなりましたが、九州地区や海外における販売が増加したことにより、利益面では微増となりました。

これらの結果、売上高は113億98百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は6億37百万円(前年同期比9.5%減)となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

当事業を担うアズフィット株式会社につきましては、販売増加により前年同期に対して売上高が微増となりましたが、物流費の高騰等の影響により、利益面では下回りました。

この結果、売上高は193億73百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント損失は1億30百万円(前年同期は11百万円のセグメント損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業(不動産賃貸業および除菌関連事業)につきましては、売上高は84百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント損失は1百万円(前年同期は11百万円のセグメント利益)となりました。

(注)日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の2018年3月から2018年11月の実績が、株式会社ディプロおよびエンビロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の2018年4月から2018年12月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて8億75百万円減少し、231億81百万円となりました。主な要因は、「建設仮勘定」の増加8億28百万円、「受取手形及び売掛金」の増加4億52百万円、「土地」の増加3億34百万円、「現金及び預金」の減少13億10百万円、「投資有価証券」の減少12億56百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2億13百万円減少し、87億74百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加4億2百万円、「繰延税金負債」の減少3億31百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億62百万円減少し、144億6百万円となりました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の減少8億47百万円であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、2018年7月13日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,839,079	4,528,524
受取手形及び売掛金	6,212,669	6,665,665
商品及び製品	1,668,081	1,801,570
原材料	556,585	620,508
その他	583,809	560,888
貸倒引当金	△1,115	△664
流動資産合計	14,859,110	14,176,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,107,408	5,119,813
減価償却累計額	△3,368,862	△3,445,722
建物及び構築物(純額)	1,738,545	1,674,091
機械装置及び運搬具	1,536,380	1,557,664
減価償却累計額	△1,272,382	△1,295,765
機械装置及び運搬具(純額)	263,998	261,899
土地	1,302,382	1,636,606
リース資産	28,490	28,490
減価償却累計額	△22,914	△25,966
リース資産(純額)	5,575	2,523
その他	349,864	368,884
減価償却累計額	△323,314	△338,356
その他(純額)	26,550	30,528
建設仮勘定	46,296	874,936
有形固定資産合計	3,383,349	4,480,585
無形固定資産		
その他	77,819	41,792
無形固定資産合計	77,819	41,792
投資その他の資産		
投資有価証券	5,163,078	3,906,921
長期貸付金	38,620	52,658
繰延税金資産	36,768	30,317
その他	514,852	508,843
貸倒引当金	△15,992	△15,992
投資その他の資産合計	5,737,327	4,482,748
固定資産合計	9,198,496	9,005,125
資産合計	24,057,607	23,181,619

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,853,896	4,255,916
短期借入金	1,470,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	—	20,000
リース債務	4,309	2,704
未払法人税等	201,148	61,753
賞与引当金	50,807	61,083
その他	708,487	570,707
流動負債合計	6,288,649	6,422,165
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	820,000	800,000
リース債務	1,618	—
繰延税金負債	1,134,995	803,493
退職給付に係る負債	149,868	155,650
その他	93,575	93,482
固定負債合計	2,700,057	2,352,626
負債合計	8,988,707	8,774,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,380,514
利益剰余金	9,766,267	9,955,386
自己株式	△83,552	△76,083
株主資本合計	12,379,897	12,582,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,655,021	1,807,877
為替換算調整勘定	1,717	386
その他の包括利益累計額合計	2,656,739	1,808,264
非支配株主持分	32,263	16,532
純資産合計	15,068,899	14,406,827
負債純資産合計	24,057,607	23,181,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	30,547,665	30,855,479
売上原価	25,862,313	26,318,866
売上総利益	4,685,351	4,536,612
販売費及び一般管理費	3,979,850	4,029,698
営業利益	705,500	506,913
営業外収益		
受取利息	2,478	2,614
受取配当金	54,936	59,326
持分法による投資利益	2,455	—
その他	12,008	17,744
営業外収益合計	71,879	79,685
営業外費用		
支払利息	11,515	10,257
売上割引	6,977	2,631
持分法による投資損失	—	158
為替差損	3,246	7,076
その他	4,919	3,504
営業外費用合計	26,659	23,628
経常利益	750,720	562,970
特別利益		
固定資産売却益	682	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	682	0
特別損失		
固定資産除却損	2,591	1,152
その他	590	113
特別損失合計	3,181	1,266
税金等調整前四半期純利益	748,221	561,704
法人税、住民税及び事業税	232,760	183,099
法人税等調整額	16,494	46,292
法人税等合計	249,254	229,391
四半期純利益	498,967	332,313
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,622	△15,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	515,589	348,044

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	498,967	332,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	505,105	△847,143
為替換算調整勘定	2,199	△1,331
その他の包括利益合計	507,305	△848,474
四半期包括利益	1,006,272	△516,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,022,894	△500,430
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,622	△15,731

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年6月1日至2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,337,279	19,129,676	30,466,956	80,708	30,547,665	—	30,547,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,249	5,535	41,784	92,476	134,260	△134,260	—
計	11,373,529	19,135,212	30,508,741	173,185	30,681,926	△134,260	30,547,665
セグメント利益又は損失(△)	704,408	△11,886	692,521	11,245	703,767	1,733	705,500

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,733千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,398,341	19,373,136	30,771,478	84,001	30,855,479	—	30,855,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,305	6,932	36,237	92,613	128,851	△128,851	—
計	11,427,647	19,380,068	30,807,715	176,614	30,984,330	△128,851	30,855,479
セグメント利益又は損失(△)	637,779	△130,782	506,997	△1,022	505,974	938	506,913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額938千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。